東北建設マネジ協、東北整備局

子どもたちに土木の魅力伝える

工事のみりょく写真展

東北建設マネジメント技術協会（秋葉敬治代表理事）は、東北整備局の共催により、盛岡市のマリオス（盛岡地域交流センター）20階展望室展示場で8月29日から今月4日まで「工事のみりょく写真展」を開催している。



写真展は土木構造物や工事現場の写真などを展示することで、建設業への理解を促進し、未来を担う子どもたちに建設業の魅力を伝える目的で2016年から行っている。宮城県大崎市の「あ・ら・伊達な道の駅」では毎年、それ以外の5県も順番に開催。岩手会場での実施は今回で2回目となる。

県内のダム、砂防施設、道路、トンネル、橋梁などの構造物やその作業現場、建設車両などについて、同協会が36点、岩手河川国道事務所が8点の計44点を展示。写真にはそれぞれ子どもにも分かりやすい説明が付け加えられている。

初日となる29日には親子連れが普段見ることのできない現場の写真に関心を持ちながら楽しんでいたほか、JR盛岡駅近くの展望室での開催のため観光客も訪れていた。

開催時間は10時～16時（最終日は10時～15時）まで。入場無料。展示のほかにも、建設車両のペーパークラフトの配布、くじ引きによるおもちゃのプレゼントなども用意されている。